

ほ し っ 北斗に継なげ

上磯中学校教育目標

- ☆考える生徒
- ☆心の豊かな生徒
- ☆根気づよい生徒
- ☆健康な生徒

上磯中学校通信 令和5年8月31日(木)発行

「2学期 リスタートです」

北斗市立上磯中学校長 浦田 慎一

21日(月)より、2学期がスタートしました。全国的に児童生徒の命に関わるようなニュースが多かったこの夏でしたが、幸いにも大きな事故なく子供たちと顔を合わせることができました。しかしながら、例年にない猛暑となり、30℃越えの中での教育活動となりました。

さて、1時間目の始業式、校長の私からの話で、少し多めに時間をもらい、生徒の皆さんにプレゼンテーションをさせていただきました。それは、次のような内容で行いました。

まずは、上磯中学校の学校教育目標について、どれ

<校長から生徒の皆さんへ>

上磯中学校 学校教育目標

校長 浦田慎一

くらい知っているのか。聞いてみました。結果は、残念なことに、全校生徒の1割程度の反応でした。何となく知っているという感じもありましたが、ちょっと低い反応でした。各教室の全面に張ってあると言うだけで、日頃はあまり意識されていないと言うことです。これは、我々職員もしっかり反省しなければならないところでもあります。

<校長から生徒の皆さんへ 確認です >

上磯中学校 学校教育目標

校長 浦田慎一

考える生徒

自らの力でものごとを考え
問題を解決する生徒

心豊かな生徒

礼儀正しく豊かな心を持ち
互いに協力し合う生徒

根気づよい生徒

働くことに喜びを持ち
最後までやり抜く生徒

健康な生徒

自分で自分の健康を保ち
進んで体力の増進を図る生徒

この学校便りにもものせてありますが、4つあります。そこで、確認ですとすることで改めて学校教育目標を提示しました。「考える生徒」「心豊かな生徒」「根気づよい生徒」「健康な生徒」であります。しかし、学校は様々な目標が多すぎて肝心の学校教育目標があまり意識されていないという現象が見られます。そこで、2学期から重点教育目標として、「考える生徒：自らの力でものごとを考え、問題を解決する生徒」に力を入れることにしました。

<校長から生徒の皆さんへ 提示です >

2学期からの重点目標

考える生徒

自らの力でものごとを考え
問題を解決する生徒

生徒には、たくさんの考える場面を設定することを伝え、重点教育目標として提示しました。そして、考えることで生徒に、改めて身に付けてほしいことも示しました。

<校長から生徒の皆さんへ 身に付けてほしいこと>

ATM

あいさつ
時間
身だしなみ

3 K

考える
会話する
行動する

それが、「ATM」と「3K」であります。まずは、ATMですが、Aは「あいさつ」。決して、ダメではないのですが、とてもいいわけでもない状態。一人一人が、今より少し声を出したり進んで挨拶したりといった、全体のレベルアップを訴えました。そして、Tの「時間」一人ぐらい、少しぐらいいいやではなく、時間を意識した行動を期待していると話しました。Mは「身だしなみ」です。これは、新校則を検討していますし、来年度からは新制服ともなります。上磯中学校らしさを創造してほしいと話しました。

そして、3Kは、授業の中でしっかり、考える力・会話する力・行動する力、の三つのKを力として授業の中でつけてほしいことを伝えました。先生方にもこの授業スタイルの提供を求めました。特に1・2年生の数学では、習熟度別少人数指導を継続し、個に応じて「考える」授業を展開していきます。

そして最後に、スローガンを提案しました。

<校長からの提案です>

スローガン

上中プライド(Kamityu Pride)

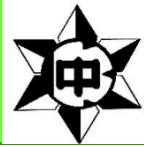
美しく整える

プライドとは、意地。上磯中学校の意地。
いずれは 誇りにしてほしい。

スローガン、合い言葉として「上中プライド：美しく整える」を提案しました。プライドは、意地として何事も美しく整えることを頑張ってもらいたいというエールを込めて、そして、卒業するときには、誇りを持って卒業してほしいという願いを込めています。

こういった内容を始業式でプレゼンテーションさせていただきました。すぐに変化が出るとは思っていませんし、絶対の自信があるわけでもありません。ただ、少しでも学校生活が前向きになるように、簡単に理解しやすいようにしたつもりです。職員と生徒と一丸になって、2学期をリスタートさせていただきましたので、保護者の皆様、地域の皆様にもお知らせさせていただくと共に、生徒にも声をかけていただきながら、ご支援願えればと思っております。

尚、裏面には、今年の上磯中学校はこんなことを進めているということを簡潔に示した、グラウンドデザインを掲載しました。合わせてご覧いただければと思います。



令和5年度 上磯中学校グランドデザイン



先人の教え

汝の志を北斗に継なげ

学校教育目標

考える生徒

自らの力でものごとを考え問題を解決する生徒

心の豊かな生徒

礼儀正しく豊かな心を持ち互いに協力し合う生徒

根気つよい生徒

働くことに喜びをもち最後までやり抜く生徒

健康な生徒

自分で自分の健康を保ち進んで体力の増進を図る生徒

令和5年度 重点教育目標

考える生徒：自らの力でものごとを考え問題を解決する生徒の育成

生徒に身に付けさせたいこと 「ATM と 3K」

A (あいさつ)
T (時間)
M (身だしなみ)

K (考える力)
K (会話する力)
K (行動する力)

(1) 授業改革の推進

職員の意識改革で、生徒が主体の授業に

- ①主体的・対話的で深い学びへの授業実践
- ②ICT機器の積極的な活用

(2) 不登校生徒への対応

できる限りの工夫で、個に応じた対応を

- ①未然防止の取組
- ②初期対応の取組
- ③自立支援の取組

スローガン「上中プライド (kamityu Pride) : 美しく 整える」

(3) 学力向上への取組

組織的な取組で、下位層の底上げを

- ①系統的で組織的な取組
- ②学習指導部を中心とした取組

(4) 減少に伴う業務改善

見直しと発想で、時間の余裕へ

- ①チームによる業務改善の実施
- ②職員一人一人による業務改善の実施

(5) 組織体制の見直し

経営参画意識向上で、動きやすい組織に

- ①学校運営組織の見直し
- ②他の組織全般の見直し